

SDGs とは、国連で採択された、すべての国や地域が 2030 年までに達成することを
目指して取り組む世界共通の目標のことで、17 の目標があります。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」 ～強靱なインフラや持続可能な産業発展、技術革新を推進する～

AI やスマートフォン、自動車など、産業や技術革新の発展により、私たちの暮らしは便利で豊かなものになっています。こうした発展を今後も続けていくためには、生活や産業の基盤となるインフラ（電力、ガス、上下水道、道路・鉄道、インターネットなど）が重要ですが、世界では、日本のようなインフラが、まだ整っていない国や地域がたくさんあります。これからの経済発展に欠かせないインターネットの普及率も、先進国の約 81% に対して、開発途上国は約 40%、後発開発途上国は約 18% と遅れています。一方、自然災害が多発する日本でも、震災による停電や断水、台風による水害や風害などが発生しても、

被害を最小限に抑え、早急に元の状態に回復できる強靱なインフラが求められています。

輸送、エネルギー、情報通信技術などのインフラ整備における技術の進歩は、新たな雇用を生み、生産性や所得の向上などにつながるとともに、資源の効率化やエネルギー問題の解決にも役立つことで、環境の改善にもつながります。

○私たちにできること

- ・身近なインフラ設備の仕組みを調べる
- ・インフラが普及していない国の生活を調べる
- ・支援団体への寄付や活動に協力する など

SDGs とは、国連で採択された、すべての国や地域が 2030 年までに達成することを
目指して取り組む世界共通の目標のことで、17 の目標があります。

10 人や国の不平等を
なくそう



目標 10「人や国の不平等をなくそう」 ～人と人、国と国の不平等や差別をなくす～

世界では、多くの人が人種、年齢、性別、障がいの有無、宗教などを理由に、日常生活や教育、労働条件など様々な状況において不平等な扱いや差別を受けています。また、世界で最も裕福な 8 人の総資産額は、貧しい人たちの約 36 億人分と同じといわれており、裕福な人はさらに裕福に、貧しい人はさらに貧しくなる、そんな貧富の格差が広がっています。

日本においても、インターネットによる誹謗中傷、在日外国人や障がい者などに対する差別や偏見、ヘイトスピーチなどが問題となっています。また、日本は世界第 3 位の経済大国であるにもかかわらず、正規社員と契約社員や派遣社員等との賃金・所得格差のレ

ベルは、先進国の中で「ワースト 8」という驚くべき報告もあります。

自分と違うことに対して偏見を持つなど、差別は誰にでも起こる可能性があります。多種多様な人たち・文化を認め、理解し、相手を大事に思う気持ちを持ち、誰もが個性と能力を発揮し、活躍できる社会の実現を目指すことが大切です。

私たちにできること

- ・差別をしない、させない
- ・いろいろな国の人とコミュニケーションをとる
- ・募金や寄付をする
- ・困っている人を見かけたら、声をかけてみる など